

◎サンプル答案として利用されることを望まない場合、レ点⇒□

第11回 設問

下の各問いに解答しなさい。

問 01. 円高が日本経済に与える影響を説明した下の各文について、理論的に考えた場合、適切な文には1、不適切な文には2を解答しなさい。

- (a) 円高は、外国から日本へのインバウンド・ツーリズムを増やす。解答欄⇒〔 2 〕
- (b) 円高は、日本から輸出される財の外国での販売価格を高くする要因となりうる。解答欄⇒〔 1 〕
- (c) 円高は、他の国と比較した日本の GDP の規模を小さくする。解答欄⇒〔 2 〕
- (d) 円高は、日本の輸入物価を高くする要因となりうる。解答欄⇒〔 2 〕
- (e) 円高は、日本の労賃の水準を外国に比べてより高くするので、日本企業の対外直接投資を促す要因となりうる。解答欄⇒〔 1 〕
- (f) 円高は、日本企業が海外で挙げた収益を円に換算する数値を大きくするので、企業にとっては決算にとって有利である。解答欄⇒〔 2 〕

問 02. 為替レートがどのような原理によって変化するのかを説明した下の文の中で、最も適切なものを選択肢から選び記号で答えなさい。解答欄⇒〔 (a) 〕

〔選択肢〕

- (a) 購買力平価よりも実際の為替レートが自国貨安の場合は、長期的には自国貨は購買力平価に近づき、自国貨高・外貨安になってゆく。
- (b) 購買力平価よりも実際の為替レートが自国貨安の場合は、長期的には自国貨は購買力平価に近づき、自国貨安・外貨高になってゆく。
- (c) マネタリーアプローチによると、マネタリーベースなどの貨幣量（通貨量）が他の国のそれよりも多い（増加している）場合、その国の通貨は値上がりする傾向がある。
- (d) 一般的には金利が高い国の通貨は、減価する傾向がある。
- (e) アセットアプローチによると、一定期間における経常収支レベルの資金の流出入つまり流れが、為替の取引高を形成してレートを左右する。

◎サンプル答案として利用されることを望まない場合、レ点⇒□

第12回 設問

下の各問いに解答しなさい。

問 01. 日本の企業や金融機関が外貨建ての対外資産・負債を持っているときに、円高・円安による収益への影響を表で示すこととする。下の各〔 〕に「益」または「損」を記入しなさい。

	外貨建て資産	外貨建て負債
円高	〔 損 〕	〔 益 〕
円安	〔 益 〕	〔 損 〕

問 02. IS（貯蓄投資）バランスを表す式を日本語で下のように表記した場合、それぞれの〔 〕に入る語句はどれか。選択肢から選び、〔 〕にそれぞれ番号で記入力しなさい。ただし、選択肢には不要な語句が含まれている。

$$\text{貯蓄} - \text{〔 2 〕} - \text{政府支出} + \text{〔 1 〕} = \text{〔 5 〕} - \text{〔 6 〕}$$

〔選択肢〕 1 税収、2 投資、3 内需、4 付加価値、5 輸出、6 輸入

問 03. 円安・ユーロ高が日本経済に与える影響を説明した下の各文について、一般的にかつ理論的に考えた場合、適切な文はどれか。記号で解答しなさい（適切な文は、一つだけとは限らない）。※あくまで、理論的な可能性としての説明であり、実際にそのようになるかどうか、という話ではないので注意。解答欄⇒〔 (a) (c) (e) (f) 〕

- (a) ユーロ域からの輸入品は値段が高くなる可能性がある。
- (b) 貯蓄した円を使ってローマの休日を楽しむ場合、円安になる前よりもリッチな旅行ができる。
- (c) 日本の労賃がユーロ域のそれよりも安くなるので、欧州から日本への対内直接投資が増加する可能性がある。
- (d) ドイツの GDP を日本のそれと比較すると、ドイツの GDP が以前よりも小さくなったように計算される。
- (e) 円をユーロに換えて支払いをする必要がある企業にとっては、準備しなければならない円の金額が大きくなる。
- (f) 日本企業のフランス支社が揚げた収益を円に換算すると、金額が大きくなる。

◎サンプル答案として利用されることを望まない場合、レ点⇒□

第13回 設問

下の各問いに解答しなさい。

問 01. 米中で金利が共に 2 パーセントであり、為替レートが $\$1 = \text{RMB}5$ であった状態から、アメリカの金利のみが上昇したケースを想定する。この想定を使って、金利が相対的に高い国の通貨では、為替レートが増価する傾向があることを説明しなさい。

(解答のヒント) 一般的に「説明しなさい」という設問に対しては、文章を主体にして解答することが原則。図を補助として使うのも良いが、図だけの解答にならないように注意。また、文章によって説明する場合、箇条書きにならないようにも注意。文章とは、主語と述語と句読点がある文が複数存在し、文と文が必要に応じて接続詞で結ばれているものを指す。

(解答例) たとえば、500 人民元を持ってる中国の投資家が、それを中国で運用すると、金利 2 % がついて、510 元となる。他方で、この 500 元をドルに換えると 100 ドルとなり、これをアメリカで運用すると、102 ドルとなる。為替レートが不変であると仮定すると、これを人民元に換えると、510 元となる。つまり、中国で資金運用しても、アメリカで運用しても、リターンは同じである。

次に、アメリカのみ金利が 5 % に上がったとする。上と同じ 500 元をアメリカで運用すると、今度は 105 ドルとなる。これを人民元に換えると、525 元となる。中国で運用した場合よりも 15 元多くなる。その結果、中国よりもアメリカで資金運用をした方が有利ということで、外国為替市場でドル買い・人民元売りが多くなり、ドル高・人民元安となっていく。このように、金利が相対的に高い国（この場合アメリカ）のドルは、人民元に対して増価する傾向がある。

問 02. 福岡の邪馬台国の通貨 Himiko が、いま $\text{Himiko}1 = \$10$ だが、1 ヶ月後に $\text{Himiko}1 = \$11$ になると予想されているので、借入を起点とした為替投機を行うと仮定する（つまり空売りは行わない）。1 ヶ月間の借入金利は、ドルも Himiko も 4 % である。このとき、どのような為替取引を行い、予想通りのレートになった場合に元利返済後には何%の収益率になるのかを文章で説明しなさい。

(解答のヒント)

現在のレートと、将来予想されているレートを比較して、「安く買って高く売る」（高く売って安く買い戻す）取引をすればよい。借入を起点とした取引であると仮定されているので、まず売る通貨を借りてくる。レートが変化した後、金利をつけて借りてきた通貨を返済することになる。最後に、借りてきた金額と手元に残った利益によって、収益率を考えればよい。

(解答例) 現在のレートと、予想される将来のレートを比較すると、現在の方が Himiko 安・ドル高、将来の方が Himiko 高・ドル安である。投機においては、安く買って高く売る（高く売って安く買い戻す）ことが基本である。よって、現時点では Himiko 買い・ドル売りをすることになる。空売りをしないので、現時点で売る（取引相手に渡す）ドルを持っているなければならない。

そこで、100 ドルを借りてきて（金利 4 %）、Himiko に換えると、10Himiko となる。レートが変化した後に、Himiko 売り・ドル買いをすると、110 ドルとなる。最初に借りた 100 ドルに金利 4 ドルをつけて返済すると、手元に 6 ドル残る。よって、取引の規模が 100 ドルだったので、それに対しての 6 ドルの儲けなので、収益率は、6 %ということになる。

ちなみに、為替レートは、Himiko1 に対して 10 ドルから 11 ドルへと 10 %変化している。金利がゼロ%であれば、為替レートの変化のみで収益を考えればよく、10 %の収益率である。それに対して、4 %の利子率がかかっているのだから、儲けの率は、 $10 - 4$ の 6 %と表現することもできる。言い替えれば、金利が 10 %にまで上がれば、こうした為替投機の利益はゼロ（収益率も 0 %）ということになり、為替投機を減らせる可能性がある。

◎サンプル答案として利用されることを望まない場合、レ点⇒□

第14回 設問

下の各問いに解答しなさい。

問 01. アメリカと中国において、基準時と現在の為替レートと物価が下の表の状態のとき、現在の実質為替レートはいくらになるか、下の選択肢 1～8 から選び番号で解答しなさい。 ※表中の「物価」とは、すべての財・サービスの値段を平均して代表した数値という意味である。為替レートは、1 ドルあたりの人民元の数値で表されたものとする。解答欄⇒〔 7 〕

	基準時	現在
為替レート	A 元	B 元
アメリカの物価	C ドル	D ドル
中国の物価	E 元	F 元

〔選択肢〕

1. $A \times (C/D) \div (E/F)$ 、 2. $A \times (E/F) \div (C/D)$ 、 3. $A \times (D/C) \div (F/E)$
 4. $A \times (F/E) \div (D/C)$ 、 5. $B \times (C/D) \div (E/F)$ 、 6. $B \times (E/F) \div (C/F)$
 7. $B \times (D/C) \div (F/E)$ 、 8. $B \times (F/E) \div (D/C)$

問 02. アメリカと日本で、基準時と現在の為替レートと物価変化（指数表示）が下の表の状態のとき、現在の実質為替レートはいくらになるか、式で解答しなさい。 ※表中の為替レートは、1 ドルあたりの円の数値で表されたものとする。

解答欄⇒〔 $B \times 1.1 \div 0.98$ 〕

	基準時	現在
為替レート	A 円	B 円
アメリカの物価	100	110
日本の物価	100	98